



音楽でまちを元気に!

地域と奏でるメロディ

1981年の創設以来、地域に根ざした活動をしている多賀城吹奏楽団。楽器を数十年続けているベテラン、学生時代の部活動からブランクを経て楽器を再開した人など、20代から70代まで20人ほどのメンバーで構成。年に1回の定期演奏会をはじめ、福祉施設や公営住宅、ショッピングセンターなどでの演奏活動を行っています。

団長の高橋さんが入団したのは2011年1月。その直後に東日本大震災が発生。先輩団員たちの「いろいろな場所に向向いて、自分たちの演奏で笑顔になってもらおう」という言葉をきっかけに避難所や仮設住宅での慰問演奏を行いました。その想いは現在の活動にも受け継がれており、「地域の人たちに楽しんでもらいたい」という考えのもと、市民に演奏を披露する機会を増やしたり、数あるレパートリーの中から演奏場所や客層に合った楽曲を選んだりしています。7月に出演した地域の夏祭りでは、聴いていた子どもがステージに上がって踊り出すなど、来場者が一体となって盛り上がりました。「純粋に音楽が好きでメンバーが集まって、和気あいあいと活動しています。自分たちも楽しみながら、音楽で地域を豊かにしたい」と話す高橋さん。「生の音楽に触れたお客さんが喜んでくれる姿を見ることが活動の醍醐味」と目を細めます。

趣味・特技を生かして地域に貢献している多賀城吹奏楽団。積み重ねた歴史の分、地域を大切にしてきました。それが、市民に愛され親しまれ続けている理由なのかもしれません。

↑ 八幡下一地区ふれあい夏まつりでの演奏の様子。
(写真提供：多賀城吹奏楽団)

第37回定期演奏会

日時 | 2024年10月6日(日)
開場 13:30 開演 14:00
会場 | 多賀城市民会館小ホール(多賀城市文化センター内)
入場無料
曲目 | 多賀城メドレー(多賀城吹奏楽団オリジナル)
アンパンマンメドレー
天空の城ラピュタコレクション
ファンダンゴ 他



↑ 昨年の定期演奏会の様子。(写真提供：多賀城吹奏楽団)

多賀城吹奏楽団 SNS



X



Instagram



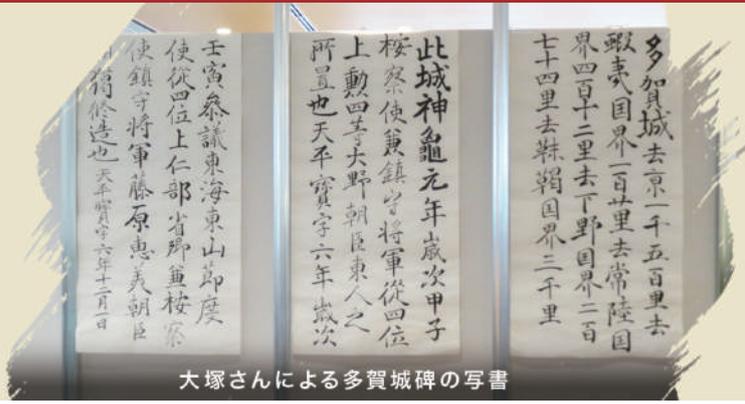
Facebook



メール

多賀城碑マニアが伝えるその魅力

毎月第1or2週目の金曜日、ランチ時間に話をする、聴く、交流することを目的に開催している「多賀城 LUNCHトーク」。第1回目は書家の大塚耕志郎さんが多賀城碑について語りました。



大塚さんによる多賀城碑の写書



大塚耕志郎さん

身近にある歴史的なものの魅力

今回の会場には、大塚さんが多賀城碑の文面を書き写した書が掲示されました。その一部、4文字だけ太く書かれた文字は、実際が多賀城碑でも他の文字と比べて太く、彫り方も違うと考えられているとのこと。「なぜ太くなっているのか、どの工程で太くしたのかなど、まだまだわからないことが多く、想像する楽しさがある」と話す大塚さん。書家ならではの視点が話の随所に光ります。

他にも、多賀城碑には何が書いてあるかというベーシックな話から、その内容から読み取れる情報、日本文化を研究している人たちに注目されるようになった背景、多賀城碑にまつわる豆知識まで、さまざまなトークを繰り広げました。「724年に多賀城が創建されたこと、762年に改修されたことなどを記録している文字遺構であると同時に、多賀城・東北に京都や奈良とは違った文化が発達していたことを証明している多賀城碑。身近にある歴史的な文化財にどんどん触れてほしい」と話します。

多賀城にはたくさんの魅力があります。それらを共有することは、地域への愛着や誇りを育てることにつながります。みなさんも地域の魅力に触れて「多賀城愛」を深めてみませんか？



←参加者からは「知らないことがたくさんあった」「もっと興味がわいた」という感想がありました。

書家としての基盤をつかった多賀城碑

書家として、創作活動のほか、仙台を中心に教室、書のワークショップ、障がいのある人たちへの創作指導などを行っている大塚さん。大塚さんにとっての多賀城碑は「誇りであり、心の支え」。最初に多賀城碑に魅了されたのは、師範について修行していた頃のこと。筆を持つ指にまめができるほど書いてもうまく書けず落ち込んだとき、多賀城碑に足を運びました。群馬県の高胡碑、栃木県的那須国造碑と並んで日本三古碑と呼ばれる多賀城碑ですが、他の石碑と比べると、読みやすく美しい文字で彫られているという特徴があるとのこと。しかし、「とめ、はね、はらい」といった技法は自由に彫られている箇所が多いそうで、そんな書を眺めているうちに、大塚さんは「のびのびと、好きに書いていいんだ」と思えるようになりました。この想いが、書家としての基盤をかたちづくっています。

「多賀城創建1300年という記念すべき年に国宝に指定されることで、多賀城がもっと豊かになったり、多賀城碑がもっと人気になるとうれしい」と話す大塚さん。今後は、子どもたちの習字のお手本にするなど、普段の活動でも多賀城碑を活用したいと考えています。

多賀城 LUNCHトーク

ランチタイムを有意義に過ごしませんか？

多賀城にまつわるゲストを迎え、多賀城市立図書館内のSHARE LOUNGE 多賀城にて開催中。

※ 詳細はたがさぼホームページまで

「tag」とは

「tag」には、多賀城(tagajo)」の頭文字3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



ホームページ ブログ

アンケート

誌面づくりの参考にしたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いします！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- こんな話題を取り上げてほしい
- ユニークな活動や地域のために頑張っている団体・人を知っている